

決算説明会

2016年3月期第1四半期

2015年7月31日
ミネベア株式会社

**前年同期比の増収は13四半期連続、
前年同期比での営業増益は8四半期連続**

(百万円)	2015年3月期		2016年3月期	前年同期比	前四半期比
	1Q	4Q	1Q	伸び率	伸び率
売上高	99,531	138,715	127,391	+28.0%	-8.2%
営業利益	10,524	16,259	12,512	+18.9%	-23.0%
経常利益	10,473	16,905	12,872	+22.9%	-23.9%
四半期純利益	6,831	8,906	10,058	+47.2%	+12.9%
一株当たり 四半期純利益(円)	18.29	23.82	26.90	+47.1%	+12.9%

為替レート	15/3期1Q	15/3期4Q	16/3期1Q
US\$	102.40円	119.36円	120.97円
ユーロ	140.57円	138.02円	132.74円
タイバツ	3.15円	3.66円	3.66円
人民元	16.40円	19.11円	19.49円

2015年7月31日

1

2016年3月期第1四半期の連結業績は、前四半期比では純利益を除いて減収減益となったものの、前年同期比では大幅な増収増益となりました。前年同期比の増収は13四半期連続、前年同期比での営業増益は8四半期連続です。

前年同期比で業績が伸びた要因として、PCの需要減に伴うHDD市場の在庫調整によりピボットアッセンブリーおよびHDDスピンドルモーターの需要が減少した一方で、ボールベアリング、LEDバックライト、スピンドルモーター以外の各種モーターおよび計測機器等の幅広い用途での需要増加があったほか、買収したSartoriusメカトロニクス タンク&ホッパーの上乗せがありました。

為替の影響は、売上高で前年同期比プラス129億円、前四半期比プラス7億円あったと推計しています。営業利益への影響は前年同期比プラス12億円、前四半期比プラス2億円との推計です。

売上高は第1四半期としての過去最高を更新

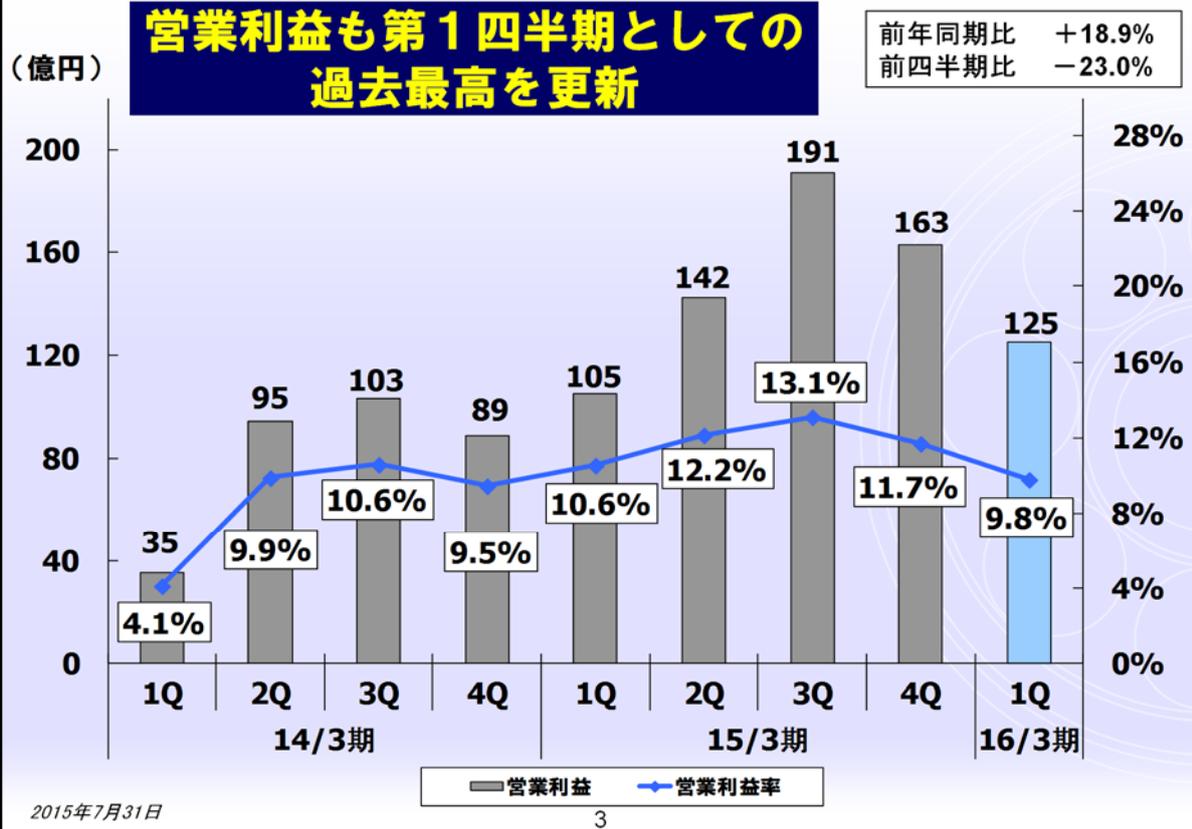
前年同期比 +28.0%
前四半期比 -8.2%



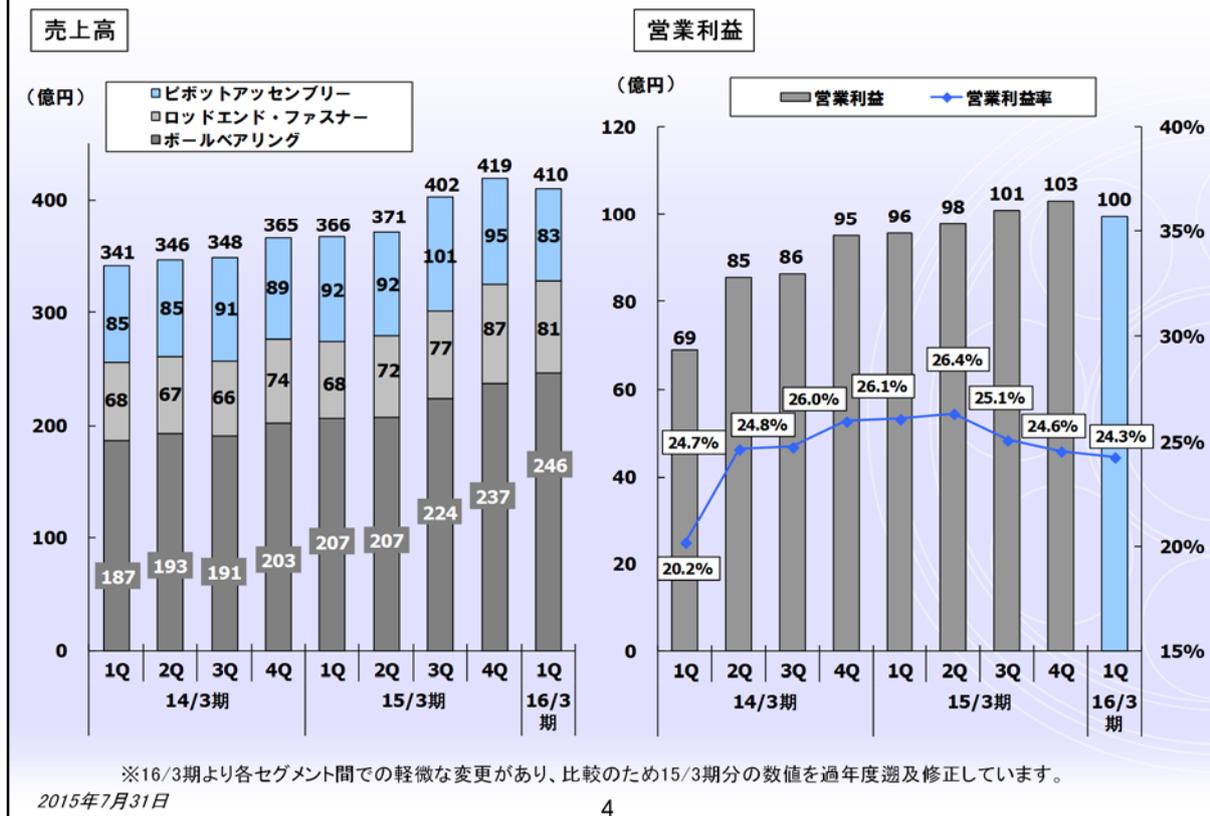
2015年7月31日

2

売上高は前年同期比28.0%増の1,274億円となり、昨年記録した第1四半期としての過去最高を更新しました。なお、前年同期比の増収は13四半期連続です。今後も需要の増加傾向は続き、ボールベアリング、LEDバックライトなどを中心に増収が続くと見込んでいます。



営業利益は前年同期比18.9%増の125億円となり、こちらも昨年記録した第1四半期としての過去最高を更新しました。なお、前年同期比での営業増益は8四半期連続です。営業利益率は9.8%となりました。今後も需要の増加傾向は続き、LEDバックライトなどを中心に増益が続くと見込んでいます。

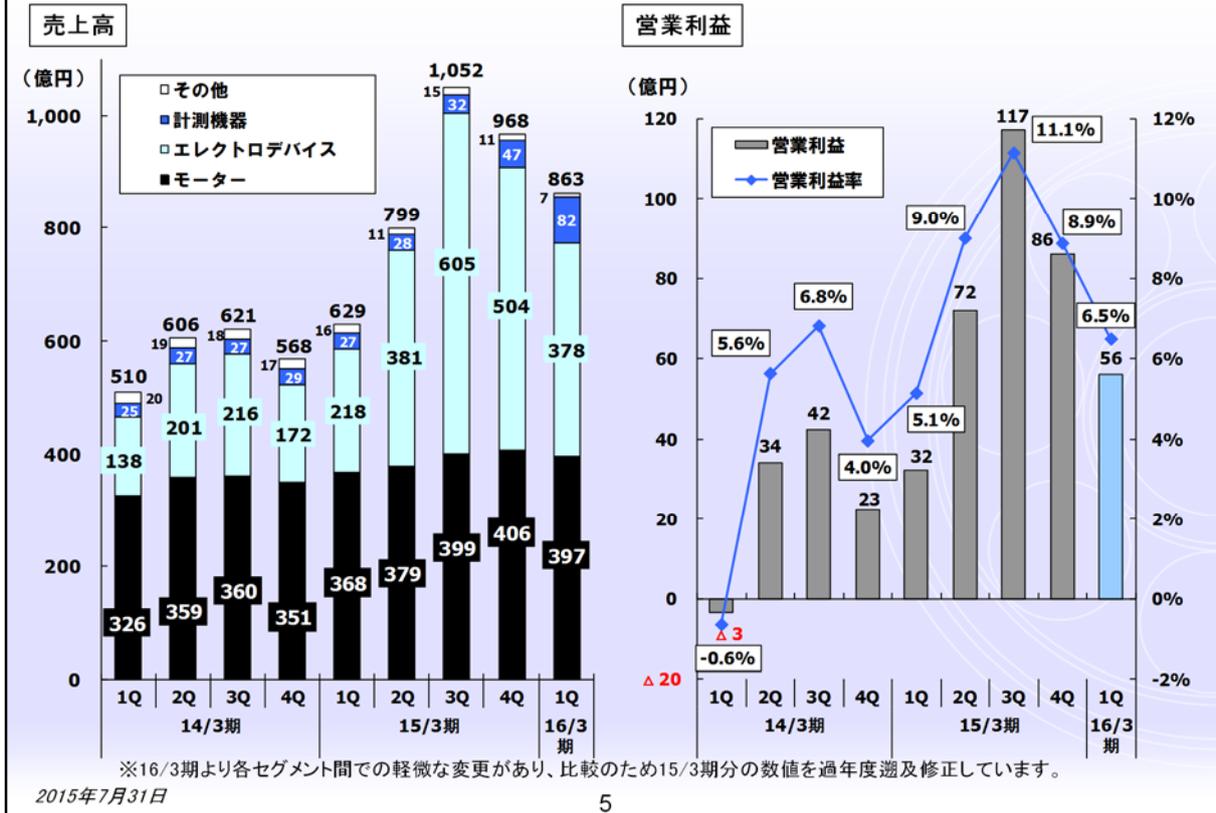


機械加工品事業セグメントの売上高は、前年同期比11.9%増の410億円、営業利益は前年同期比4.2%増の100億円となりました。営業利益率は前年同期比1.8ポイント低下し24.3%となりました。ボールベアリングの外部販売が好調だった一方で、HDD市場の在庫調整によりピボットアッセンブリーの販売数量は前年を下回りました。

ボールベアリングの売上高は、前年同期比18.9%増の246億円となりました。自動車向けおよびエアコン向けを中心に力強い需要の伸びが続いており、月次の外部販売数量は6月には1億6,000万個と、過去最高を更新しました。

ロッドエンド・ファスナーの売上高は、前年同期比20.0%増の81億円となりました。世界の民間航空機需要は堅調に推移しており、今後も社内拡販体制の整備とコスト削減を強化することで、収益改善に取り組んでいきます。

ピボットアッセンブリーの売上高は、前年同期比9.8%減の83億円となりました。前四半期からHDD市場の需要減が続いていますが、徐々に回復に向かうと想定しています。

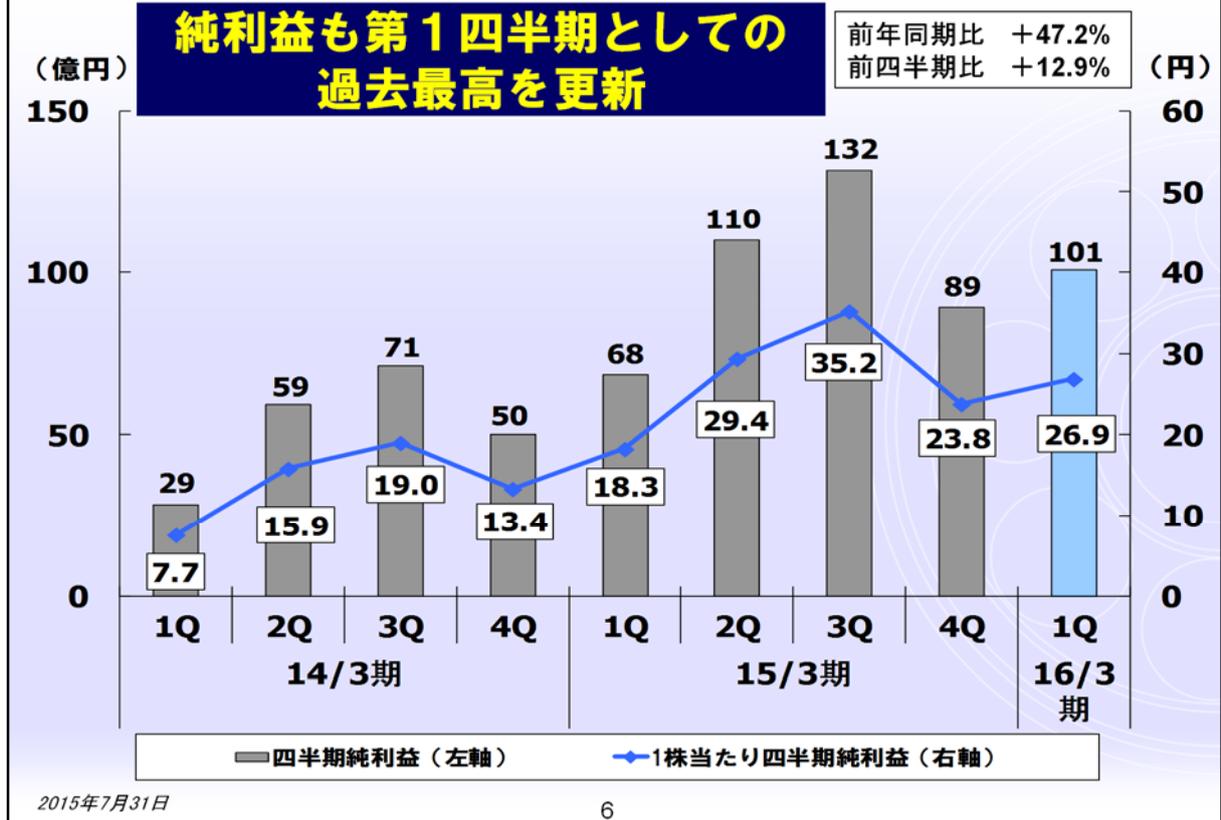


電子機器セグメントの売上高は、LEDバックライトの伸びを中心に前年同期比37.2%増の863億円、営業利益は前年同期比73.2%増の56億円となりました。営業利益率は前年同期比1.4ポイント上昇し6.5%となりました。

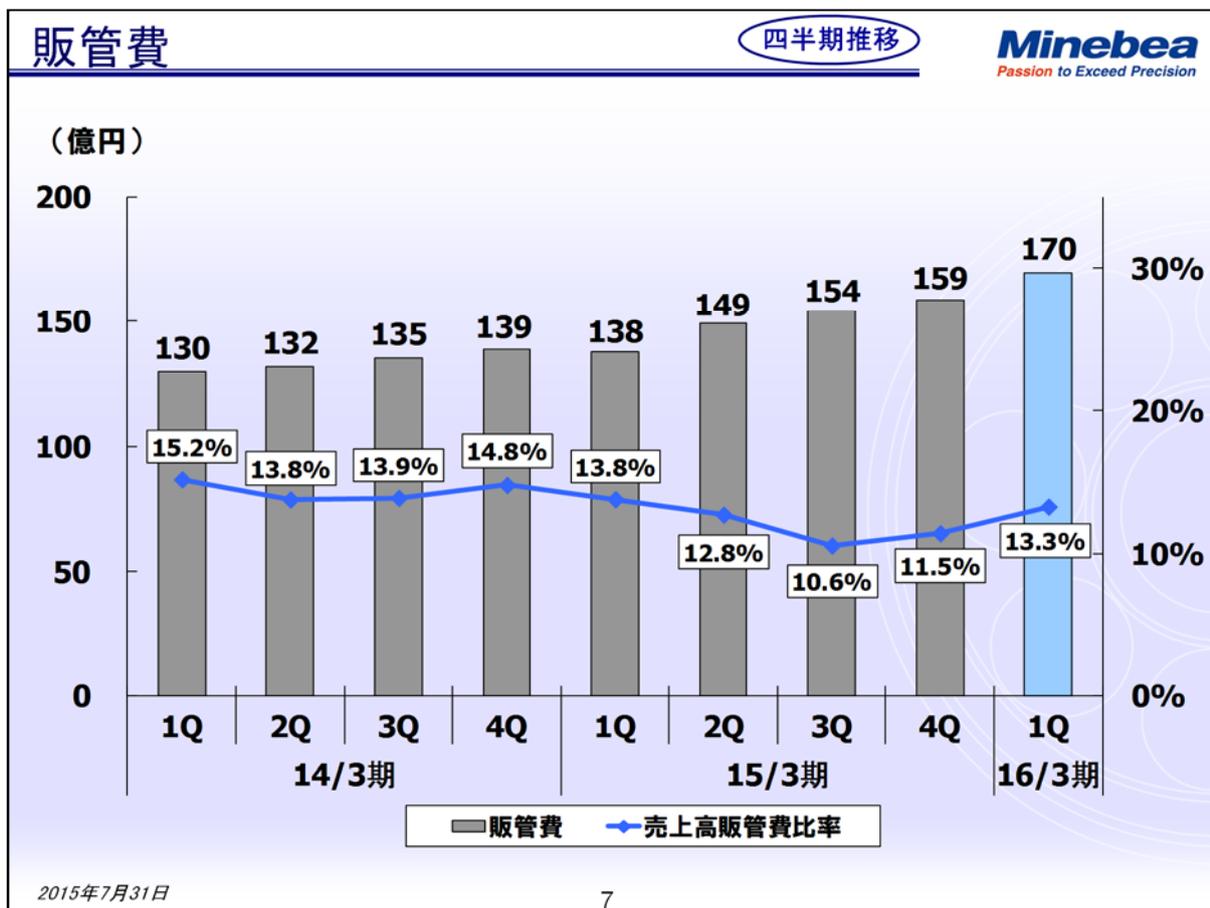
モーターの売上高は、前年同期比7.7%増の397億円となりました。世界経済の回復を受けてほとんどのモーターにおいて売上が増加しましたが、HDDスピンドルモーターにおいて、シェアは上昇したもののHDD市場の縮小を受けて数量減となりました。

エレクトロデバイスの売上高は、スマホ市場における超薄型LEDバックライトのシェア拡大により前年同期比72.9%増の378億円となりました。第1四半期は季節的に需要の低い時期だったため前四半期比で減収となりましたが、第2四半期以降は大手スマホメーカー各社の新モデルの出荷が開始されるため、売上、利益とも第1四半期を大きく上回る見込みです。

計測機器の売上高は、前年同期比3.1倍の82億円となりました。既存事業が順調に伸びているほか、買収したSartorius メカトロニクス タンク&ホッパーが第1四半期より上乘せされた影響もあります。利益率はSartorius メカトロニクス タンク&ホッパーの上乗せ後も、高い水準を維持しています。



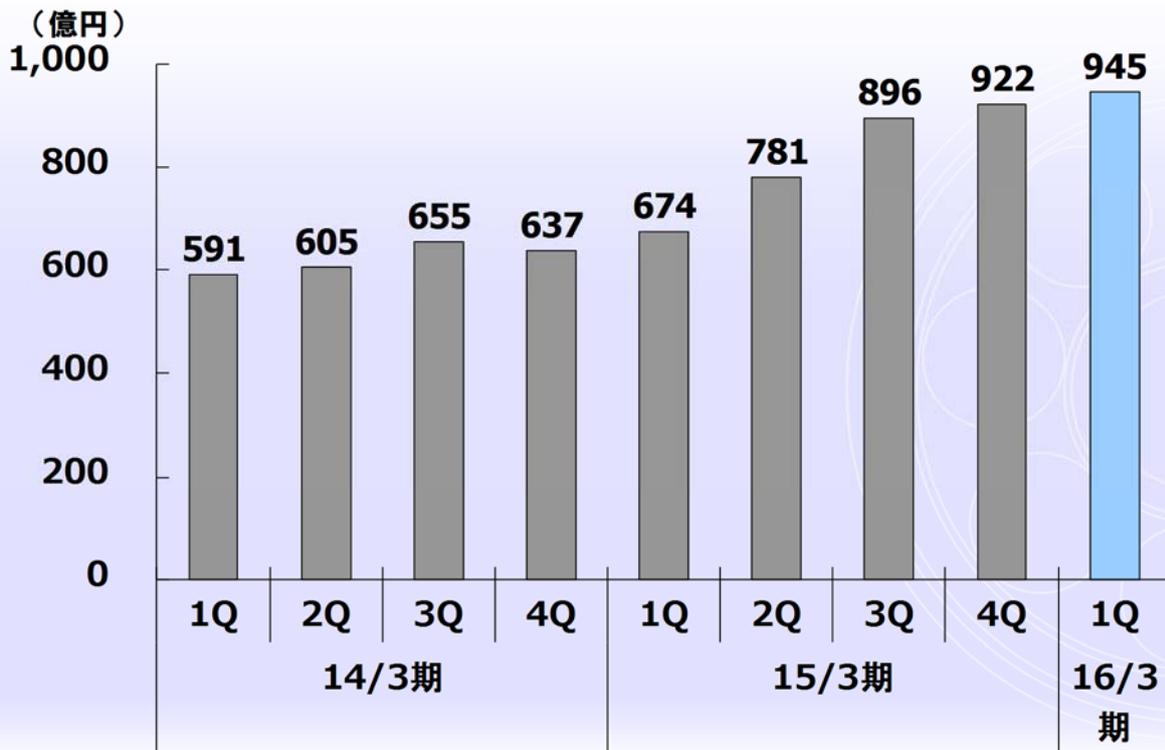
純利益は、前年同期比47.2%増の101億円、一株当たり純利益は26.9円となり、いずれも昨年記録した第1四半期としての過去最高を更新しました。前年同期比での純利益の増加は9四半期連続です。



2015年7月31日

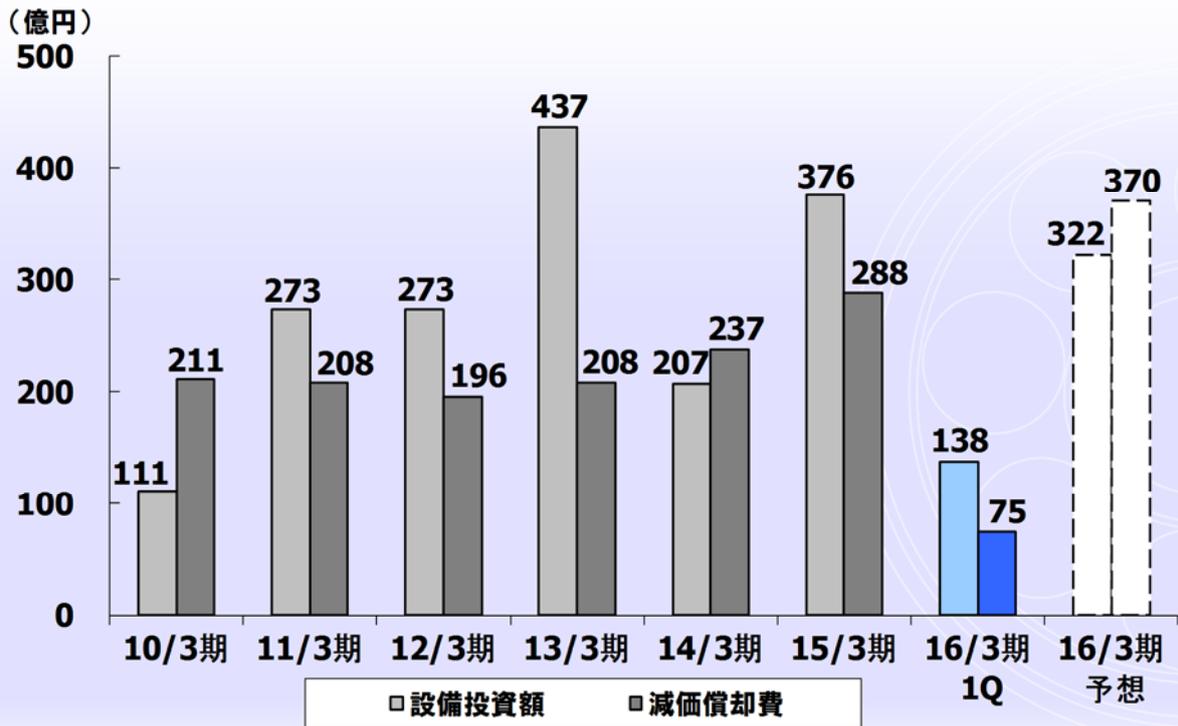
7

販管費は、前年同期比32億円増加し170億円となりました。売上高販管費比率は前年同期比で0.5ポイント低下し13.3%となりました。これは、為替の影響による増加および Sartorius メカトロニクス タンク&ホッパーの新規連結による増加等のためです。



2015年7月31日

第1四半期期末のたな卸資産は、前期末比23億円増加し945億円となりました。



2015年7月31日

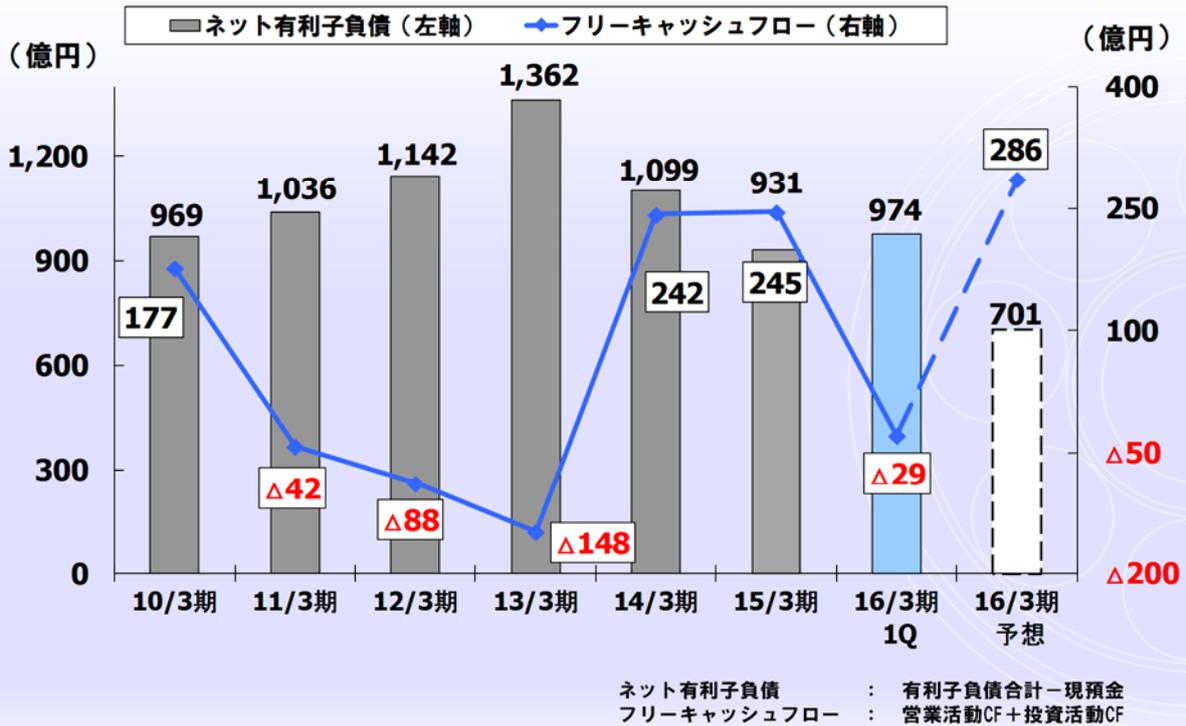
9

第1四半期の設備投資は138億円、減価償却費は75億円でした。2015年3月期においてLEDバックライトなどで能力増強投資を行いました。今期の設備投資は減価償却を大幅に下回る水準となる予定です。

ネット有利子負債

年推移

Minebea
Passion to Exceed Precision



2015年7月31日

10

このグラフは、有利子負債総額から現預金を差し引いたネット有利子負債の推移です。

第1四半期末におけるネット有利子負債は974億円となり、前四半期末比43億円の増加となりました。純利益が増加したものの、一方で期末配当や賞与支払い等資金需要が増加した事が影響したためです。フリーキャッシュフローは29億円のマイナスとなりました。

今期は利益の伸びが見込めるため、フリーキャッシュフローは286億円のプラスへ更に拡大する見込みです。

9回連続で計画を上回る四半期利益達成 売上、利益とも過去最高を更新見込み

(百万円)	2015年3月期		2016年3月期				
	通期	上半期 従来予想	上半期 修正予想	増減額	下半期予想 修正なし	通期 修正予想	前年比 伸び率
売上高	500,676	294,500	294,500	+0	355,500	650,000	+29.8%
営業利益	60,101	28,400	28,900	+500	38,600	67,500	+12.3%
経常利益	60,140	27,900	28,400	+500	38,100	66,500	+10.6%
純利益	39,887	20,200	22,200	+2,000	27,800	50,000	+25.4%
一株当たり 純利益(円)	106.73	54.03	59.37	+5.34	74.35	133.72	+25.3%

(下半期は変更なし)

為替レート	15/3期 通期実績	16/3期 1Q実績	16/3期 2Q想定	16/3期 下半期想定 変更なし	16/3期 通期想定
	US\$	109.19円	120.97円	118.00円	118.00円
ユーロ	139.38円	132.74円	130.00円	130.00円	130.69円
タイバーツ	3.37円	3.66円	3.60円	3.60円	3.62円
人民元	17.60円	19.49円	19.30円	19.30円	19.35円

2015年7月31日

11

これは、今期2016年3月期の業績予想をまとめたものです。

第1四半期は計画を上回る利益を達成し順調なスタートを切ることができました。この実績を勘案し、5月に発表した通期予想を上方修正します。なお下半期の予想の変更はありません。

製品別では主力製品のボールベアリング外部販売の増加、LEDバックライトの一部アッセンブリーを伴う事業拡大とシェア拡大、HDDスピンドルモーターを除く各種モーターの収益改善、計測機器の堅調な需要増加などにより、今期は4期連続の増収増益で、売上、利益とも過去最高を更新すると見込んでいます。

セグメント別業績予想

(百万円)	2015年3月期		2016年3月期				前年比 伸び率
	通期	上半期 従来予想	上半期 修正予想	増減額	下半期予想 修正なし	通期 修正予想	
売上高	500,676	294,500	294,500	+0	355,500	650,000	+29.8%
機械加工品	155,785	84,000	84,000	+0	86,000	170,000	+9.1%
電子機器	344,724	210,200	210,200	+0	269,100	479,300	+39.0%
その他	166	300	300	+0	400	700	4.2倍
営業利益	60,101	28,400	28,900	+500	38,600	67,500	+12.3%
機械加工品	39,722	21,300	21,300	+0	21,300	42,600	+7.2%
電子機器	30,747	13,050	13,550	+500	23,050	36,600	+19.0%
その他	△28	△350	△350	+0	△150	△500	-
調整額	△10,340	△5,600	△5,600	+0	△5,600	△11,200	+8.3%

※16/3期より各セグメント間での軽微な変更があり、上記数値はそれを反映しています。

2015年7月31日

12

セグメント別の業績予想はこの通りです。

中間配当を4円増配

2015年3月期 配当

年間配当12円(中間配当6円 期末配当6円)

2016年3月期 配当(予想)

中間配当(予想) 未定 (期初予想) → **10**円

期末配当(予想) **未定**

16/3期の年間配当金は、連結配当性向20%程度を目処に配当水準の向上にも努めます。

2015年7月31日

13

好調な業績をふまえ、未定としていた中間配当を前年比4円増配の10円といたします。期末配当については現時点では未定としていますが、年間での連結配当性向20%程度を目処に配当水準の向上にも努めます。

約9,000本の高効率LED街路灯を設置へ

- ・ 環境省JCM設備補助事業への採択内定。
- ・ 2016年初頭より、約9,000本の高効率LED街路灯をプノンペン市内、アンコールワット周辺等5か所に設置予定。
- ・ 無線ネットワークによる自在な調光コントロールにより、高い効率性と省エネ性を実現。

JCM (Joint Crediting Mechanism)とは

経済産業省による温室効果ガス排出削減に向けたプロジェクトで、日本の技術を用いて海外で削減した排出量を日本の削減目標達成に活用できる仕組み。2014年8月現在12カ国と署名済み。

- ・ **カンボジアをショーケースにして世界各国への展開を目指し、新しい収益の柱へ。**
- ・ **将来的には、街路灯を通信ハブとしたWi-Fiスポット、渋滞情報や車線変更機能付きスマート信号等、より進化したスマートシティ構想への応用が可能。**



高効率LED街路灯サンプル

2015年7月31日

14

カンボジアにおけるスマートシティ構想の一環として取り組んできた、高効率LED街路灯設置プロジェクトについて説明します。

このほど、環境省JCM設備補助事業への採択内定を受け、2016年初頭より約9,000本の無線ネットワーク高効率LED街路灯をプノンペン市内およびアンコールワット周辺等の5か所に設置する予定です。

この製品は、無線技術と光学技術というミネベア独自の技術を融合させた複合製品です。本年5月に発表した新「5本の矢」戦略の一つとして、ミネベアの成長の次なるステージに向けて、このカンボジアにおける高効率LED街路灯をショーケースとして世界各国へ展開を図り、新しい収益の柱とすることを目指します。

業界初となる光の配光角を自動調整可能なLED照明器具SALIOT

- 当社独自の光学、回路、メカニカル、モーター、無線技術の融合。
- 業界で初めて、発光ダイオードとレンズの距離をモーターで制御することで、光の照射域や角度を10°~30°まで調整可能。
- 業界初のBluetooth Mesh 無線制御システムにより、スマホ・タブレットを使った広範囲での同期稼働(100台まで)が可能。
- タイ国バンワ拠点で量産を開始。



SALIOT (Smart Adjustable Light for IoT)

照明器具およびスマートネットワークのグローバル販売体制の構築へ

- タイにおける照明器具およびスマートネットワーク関連製品の総販売元としてCTI社とパートナーシップを締結予定。
- タイでミネベア照明のショールームを開設へ。
- 商業施設向けにSALIOTの拡販、高効率LED街路灯のタイ国内での拡販を目指す。

日米欧でも販売網構築へ

2015年7月31日

15

このたび、業界初となる光の配光角を自動で調整できるLED照明器具SALIOTを量産、販売開始しました。この製品は、当社独自の光学、回路、メカニカル、モーターおよび無線技術を融合した複合製品で、業界で初めて、発光ダイオードとレンズの距離をモーターで制御することで、光の照射域や角度を調整できます。また、業界初のBluetooth Mesh無線制御システムにより、スマホやタブレットを使った広範囲での同期稼働が可能です。

このような照明器具およびスマートネットワーク関連製品の拡販体制の構築に向けた取り組みとして、タイのCTI社を総販売元とするパートナーシップを締結する予定です。このCTI社を通して、ミネベア専用の照明ショールームを開設し、LED照明器具SALIOTや高効率LED街路灯をタイ国内の商業施設等に拡販していきます。すでに、カーディーラー向けの商談も進んでいます。今後、さらなる拡販体制の構築を目指し、販路を日米欧へ拡大していきます。

ミネベア株式会社

決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送を行わないようお願いいたします。